

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 8 月 20 日 (2009.8.20)

【公表番号】特表 2009-506113 (P2009-506113A)

【公表日】平成 21 年 2 月 12 日 (2009.2.12)

【年通号数】公開・登録公報 2009-006

【出願番号】特願 2008-529107 (P2008-529107)

【国際特許分類】

C 0 7 D 213/70 (2006.01)

A 6 1 K 31/4406 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 213/70 C S P

A 6 1 K 31/4406

A 6 1 P 27/06

A 6 1 P 27/02

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 6 日 (2009.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

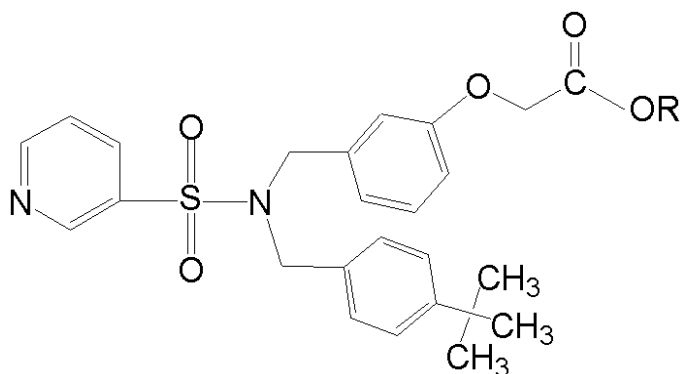
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

次式

【化 1】

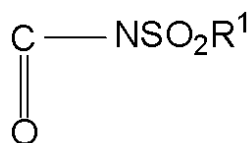


[式中、

R は、1 ~ 20 個の炭素原子からなる脂肪族の直鎖または分岐鎖の基であるか、または R は式 $(\text{CHR}^1\text{CH}_2\text{YX})_n\text{H}$ で示される極性のエステル化基（ここに X は O または S であり；Y は、H、-OH、-COOH、CONH₂、SO₃H および PO₃H₂ からなる群から選択され、n は 1 ~ 10 の整数である）であるか、または R は、

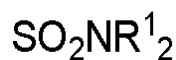
(i) 次式で示されるアシルスルホンアミド基

【化 2】



(i i) 次式で示されるスルホンアミド基

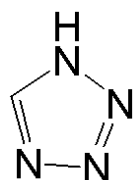
【化 3】



および

(i i i)

【化 4】



からなる群から選択され、

R^1 は、水素および 1 ~ 20 個の炭素原子からなるアルキル基からなる群から選択される]

で示される化合物またはその製薬的に許容し得る塩。

【請求項 2】

R が直鎖または分岐鎖の 1 ~ 20 の炭素原子からなるアルキル基である、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 3】

R がイソプロピルまたはイソブチルである、請求項 2 記載の化合物。

【請求項 4】

R が、式 $(\text{CHR}^1\text{CYHX})_n\text{H}$ (ここに、 X は O または S であり、 Y は、 H 、 $-\text{OH}$ 、 $-\text{COH}$ 、 $-\text{CONH}_2$ 、 SO_3H および PO_3H_2 からなる群から選択され、 n は 1 ~ 10 の整数である) で示される極性のエステル化基である、請求項 1 記載の化合物。

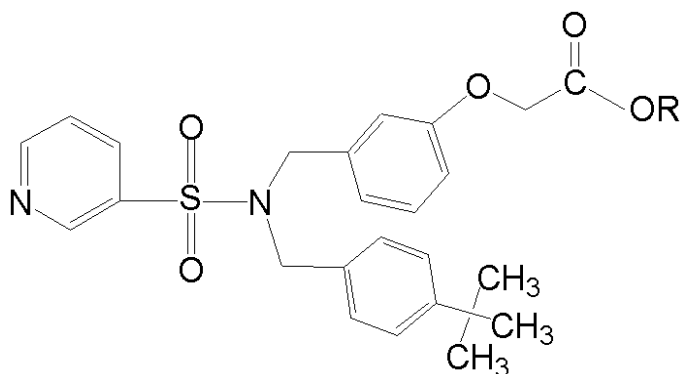
【請求項 5】

X が O であり、 Y が水素であり、 R^1 が H である、請求項 4 記載の化合物。

【請求項 6】

高眼圧を処置するための医薬組成物であって、治療的に有効量の、式

【化 5】

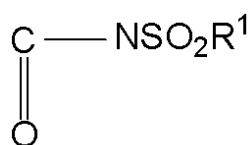


[式中、

R は、水素、または 1 ~ 20 個の炭素原子からなる脂肪族の直鎖または分岐鎖の基であるか、または R は式 $(\text{CHR}^1\text{CHYX})_n\text{H}$ で示される極性のエステル化基 (ここに X は O または S であり ; Y は、 H 、 $-\text{OH}$ 、 $-\text{COOH}$ 、 CONH_2 、 SO_3H および PO_3H_2 からなる群から選択され、 n は 1 ~ 10 の整数である) であるか、または R は、

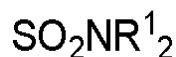
(i) 次式で示されるアシルスルホンアミド基

【化 6】



(i i) 次式で示されるスルホンアミド基

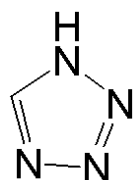
【化 7】



および

(i i i)

【化 8】



からなる群から選択され、

R^1 は、水素および 1 ~ 20 個の炭素原子からなるアルキル基からなる群から選択される]

で示される化合物またはその製薬的に許容し得る塩を含有する医薬組成物。

【請求項 7】

R が直鎖または分岐鎖の 1 ~ 20 の炭素原子からなるアルキル基である、請求項 6 記載の医薬組成物。

【請求項 8】

R がイソプロピルまたはイソブチルからなる群から選択される、請求項 7 記載の医薬組成物。

【請求項 9】

R が、式 $(\text{CHR}^1\text{CYHX})_n\text{H}$ (ここに、X は O または S であり、Y は、H、-OH、-COH、-CONH₂、SO₃H および PO₃H₂ からなる群から選択され、n は 1 ~ 10 の整数である) で示される極性のエステル化基である、請求項 6 記載の医薬組成物。

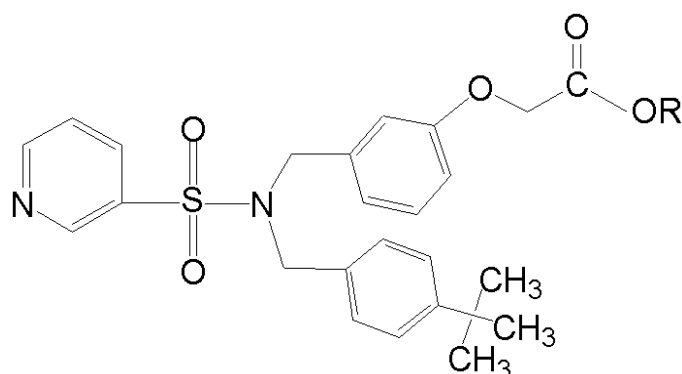
【請求項 10】

Y が水素であり、X が O であり、 R^1 が H である、請求項 9 記載の医薬組成物。

【請求項 11】

哺乳類の眼に対して神経保護をもたらすための医薬組成物であって、治療的に有効量の、式

【化 9】



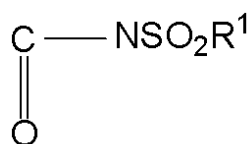
[式中、

R は、水素、または 1 ~ 20 個の炭素原子からなる脂肪族の直鎖または分岐鎖の基であ

るか、またはRは式 $(CHR^1CHYX)_nH$ で示される極性のエステル化基（ここにXはOまたはSであり；Yは、H、-OH、-COOH、CONH₂、SO₃HおよびPO₃H₂からなる群から選択され、nは1～10の整数である）であるか、またはRは、

(i) 次式で示されるアシルスルホンアミド基

【化10】



(ii) 次式で示されるスルホンアミド基

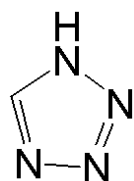
【化11】



および

(iii)

【化12】



からなる群から選択され、

R¹は、水素および1～20個の炭素原子からなるアルキル基からなる群から選択される]

で示される化合物またはその製薬的に許容し得る塩を含有する医薬組成物。

【請求項12】

Rが直鎖または分岐鎖の1～20の炭素原子からなるアルキル基である、請求項11記載の医薬組成物。

【請求項13】

Rがイソプロピルまたはイソブチルである、請求項12記載の医薬組成物。

【請求項14】

Rが、式 $(CHR^1CHYHX)_nH$ （ここに、XはOまたはSであり、Yは、H、-OH、-COH、-CONH₂、SO₃HおよびPO₃H₂からなる群から選択され、nは1～10の整数である）で示される極性のエステル化基である、請求項11記載の医薬組成物。

【請求項15】

XがOであり、Yが水素であり、R¹がHである、請求項4記載の化合物。

【請求項16】

治療的に有効量のEP2-レセプターアゴニスト活性を有するN,N'-ジベンジルピリジルスルホンアミドを投与することを含んでなる、高眼圧を処置するための医薬組成物。

【請求項17】

治療的に有効量のEP2-レセプターアゴニスト活性を有するN,N'-ジベンジルピリジルスルホンアミドを投与することを含んでなる、哺乳類の眼に対して神経保護をもたらすための医薬組成物。